

平成 22 年 7 月 15 日に、個人向け国債の固定 3 年の第 1 回債が発行されました。従来の個人向け国債よりも満期までの期間を短くし、より利用しやすくなった商品です。基本的な商品の特徴は個人向け国債の固定 5 年とほぼ同じですが、金利水準、発行時期、中途換金の制限などが異なります。

個人向け国債の特徴

商 品	変動 10 年	固定 5 年	固定 3 年
金利方式	6 ヶ月ごとの 変動金利 (利払いは年 2 回)	固定金利 (利払いは年 2 回)	
金利水準	基準金利 - 0.8% (最低利率 0.05%)	基準金利 - 0.05% (最低利率 0.05%)	基準金利 - 0.03% (最低利率 0.05%)
購入単位	1 万円		
対 象	個人のみ		
購入場所	銀行・ゆうちょ銀行・証券会社・信用金庫等の金融機関		
発行時期	4・7・10・1 月の年 4 回		毎月
中途換金	発行から 1 年経過後 は日本国政府が額面 金額で中途換金に応 じる ただし直前 2 回分の 利子相当額(税引前) ×0.8 の中途換金調 整額が必要	発行から 2 年経過後 は日本国政府が額面 金額で中途換金に応 じる ただし直前 4 回分の 利子相当額 (税引前) ×0.8 の中途換金調 整額が必要	発行から 1 年経過後 は日本国政府が額面 金額で中途換金に応 じる ただし直前 2 回分の 利子相当額 (税引前) ×0.8 の中途換金調 整額が必要
満 期	10 年	5 年	3 年
利子に対 する課税	20%源泉分離課税		

新型窓口販売方式国債（新窓販国債）は、郵便局にのみ認められていた募集取扱方式による国債の販売方式を見直し、他の金融機関に拡大したもので、平成 19 年 10 月から販売が開始されています。基本的な商品の特徴は通常のリ付国債とほぼ同じですが、通常のリ付国債よりも取り扱っている金融機関が多く、販売期間が長いなどの特徴があります。

新窓販国債、利付国債（固定利付型）の特徴

商 品	新窓販国債			利付国債 (固定利付型)
	2年	5年	10年	
金利方式	固定金利（利払いは年 2 回）			
金利水準	直近に入札によって発行された同年限の銘柄 と同じ利率			入札時の水準
購入単位	5 万円			
発行価格	発行ごとに財務省が決定			金融機関により 異なる場合がある
対 象	個人・法人・機関投資家等			
購入場所	銀行・ゆうちょ銀行・証券会社・信用金庫等の金融機関			
発行時期	毎月			2・5・10 年物は 毎月
中途換金	市場でいつでも売却が可能 売却価格は時価			
満 期	2年	5年	10年	2・5・10・20・30・ 40年
利子に対 する課税	20%源泉分離課税			